

土木工学・建築学委員会企画分科会  
環境工学連合小委員会（第24期・第5回）  
議事録

日時 令和元年5月21日（火）11:50～12:50

会場 日本学術会議6階 6-A 会議室

出席者 米田、浅見、嘉門、森口、梅村、江頭、大岡、奥田、小口、金澤、神原、玄地、坂巻、高島、永田、新苗、西嶋、藤倉、村上  
オブザーバー 宇都宮（資源・素材学会）、岡部（環境資源工学会）、尾崎（土木学会）、河瀬（日本化学会）

### 議事

議事に先立ち、新任委員の紹介、挨拶があった

1. 前回議事録の確認
  - ・ 前回小委員会までの議論の経過・内容を確認した。
2. 第32回環境工学連合講演会について
  - ・ 主幹事学会の資源・素材学会より同日開催中の講演会の進行状況や前半の参加者数についての報告があった。
  - ・ 副幹事学会について、第32回においては主幹事学会委員が企画立案をする段階において協力したことと、事務局レベルでは当日の受付、会場整備を中心に協力をする形をとったことが報告された。
  - ・ そのほか、ロジスティクスに関する詳細な問題点が指摘され、次回へ引継ぎされることが確認された。
2. 第33回環境工学連合講演会の開催に向けて
  - ・ 次期主幹事学会の土木学会より、来年度講演会のテーマ案2案が提示され、それについて審議を行った。その結果、各学協会からの意見をふまえて「SDGs達成に向けて環境工学の果たすべき役割」をテーマとして開催することとなった。
  - ・ 各学協会から推薦される講演者および講演題目が出揃ったタイミングで、SDGs目標との関連性をみながらプログラム編成等を進めることとした。
  - ・ 必要に応じて環境学委員会から講演者を推薦する可能性もあることが確認された。
4. 小委員会の今後の検討課題について
  - ・ 小委員会委員長より資料に沿って、小委員会活動に関する今後の検討課題について説明があった。

## 5. その他

- ・米田委員より，現行の公益法人制度のもとでの学協会活動への問題点と，その改善に向けた関連機関への働きかけなどの取り組みの状況について説明があった。
- ・第32回連合講演会主幹事学会（資源・素材学会）事務局より，学術会議6階を連合講演会の会場として使用するには会場レイアウトが難しいため，今後連合講演会の実施・運営を考える際には注意が必要であるとの意見があった。
- ・次回小委員会については，8月23日10－12時を予定する。

以上